

特集 糖尿病学会参加！

第61回日本糖尿病学会が東京で開催され、スタッフで参加しました。発表と勉強で忙しく終わった3日間でした。参加したスタッフからの感想を下にまとめます。

- N. C: 理学療法分野での血糖コントロール研究が学べてよかった、スキルアップに学会参加は欠かせないことを痛感した。
- K. T: 造影剤による乳酸アシドーシスがあること、メトホルミンによる腎不全が引き起こされることを学んだ。循環器外来でのサポート大事。自分自身も運動不足であることを見直した。
- M. M: 医療廃棄物を在宅で処理する患者がいること、高齢者へのフレイル改善の取り組み、多職種間から様々な視点での発表があり良かった。療養指導を行う難しさ、とくに病識を患者にまず持ってもらうこと、から始めたい。
- T. A: 生活保護のコントロールが悪いこと、連携手帳の大切さ、糖尿病を持つ患者それぞれに合わせた支援を考えたい。ビグアナイドの造影剤との相互作用を薬局と連携し、手帳に貼って啓蒙したい。
- K. E: 検査技師としての悩みは点数がつかないことがある。サポートの立場でいかに貢献できるか。しかしデータをよめるので、情報提供の側から指導に加わっていききたい。
- S. K: みかんの果汁がついたままアルコール消毒のみで血糖測定したら低血糖を検出できなかった。血糖測定の際の手洗いの励行を指導したい。学会に参加すること自分たちの日々やっていることを振り返り、新しい発見に出会え、刺激になった。

多くのことを学びました。これからも頑張っていきたいと思います。

さて、先月も健康教室が開催されました。先月は3人の患者さんが受講されました。健康教室受講の希望者は受付または院長にお申し出下さい。

時間割表

6月2日	栄養指導のみ
6月7日(木)	健康教室 2時間目給食あり
6月16日(土)	栄養指導のみ
6月23日(土)	栄養指導のみ
6月30日(土)	お休み

栄養指導担当講師

石川 絹子 先生
石垣 美和子 先生
大野 理恵 先生

<編集後記>

そろそろ梅雨も終わり。今年はカラ梅雨でした。沖縄人は歩かないことを痛感…。熱中症対策もしながら運動しましょう！